



6年2月5日

南相馬市議会議長

会派名 無会派(公明党南相馬市議団)
代表者氏名 志賀稔宗

調査研究報告書

- 1 期間 6年1月29日(水)～6年1月25日(木)
- 2 参加者 ① 志賀稔宗 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	6年1月24日(水) ~ 6年1月25日(木)
旅行先	衆議院第一議員会館
調査研究事項	
〔内容〕	
<p>国際バカロワについて</p> <p>国際バカロワ機構が提唱する国際的な教育プログラムであり、批判的な思考や幅広い知識の探求スキルを育成するプログラムにより、グローバル化に対応した資質、能力を育成するものであり、国際的に通用する大学入学資格(IB資格)が取得可能なことから、本市の教育環境の魅力向上につながることを期待されるところと見られる。継続して費用も発生することから費用対効果についての検討が必要である。</p>	
<p>外国人特定技能実習について</p> <p>我が国の外国人の在留及び労働状況についての説明をうける技能実習制度の仕組みと現状、今後の見通しについて説明をうける。本市においても多数の外国人が在留しており、また、労働不足の対策の面から大変参考となった。</p>	
<p>F-1の波及効果について</p> <p>福島をはじめ東北の復興を実現する夢や希望となった事業であり、国民の大きな期待が寄せられている国家プロジェクトである。研究成果の波及効果や人口増への起爆剤としての効果を期待する。しっかりと戦略的な取り組みをすることで、本市の波及効果も最大化できるものとする。</p>	
<p>第2次復興創生期とその後の支援策について</p> <p>令和3年3月の閣議決定において、令和3年から7年度の第2期復興創生期間内以降における各分野の概観復興を支える仕組み、組織等の方針を規定している。ハート事業、原発事故の収束、帰還・移住等の促進、生活再建等、福島への構想の推進、国際研究教育拠点の整備他、引き続き国が前面に立ち、当面10年間の格別な復興再生に向けた取り組みと位置づけている。</p> <p>本市復興再生にしっかりと取り組むことを確認できた。</p>	